

新年明けまして

おめでとうございます

本年もよろしく願い申し上げます

「東日本大震災から、もう・・・」

特定非営利活動法人 ちば水土里支援パートナー

平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、死者19,630人、行方不明者2,569人、全壊家屋121,781棟などの甚大な被害が生じた。(平成30年3月7日 消防庁災害対策本部)

千葉県の被害は、東北3県に比べ大きくはなかったが、被災地は東北3県と変わらない状況であった。地震に加え、大津波、液状化で、死者22名、行方不明者2名、全壊家屋801棟、農業は田植えを前に、農地の液状化や施設の損壊等の大きな被害を受けた。

地震直後に固定・携帯電話とも不通となり、翌日以降も計画停電、鉄道運休、道路網の寸断、ガソリン不足等で、被害状況の確認は困難を極めた。しかし、東北3県の壊滅的な状況を前に、県外の支援を求めず、県内の農業土木組織(県、市町村、土地改良区、土地改良事業団体連合会、NPO等)を上げて復旧に取り組んだ。

県職員の多くが地震に伴う液状化、津波による塩害などの災害対応の経験がなく、震災直後の指導体制に問題も指摘された。この反省を踏まえ、震災の復旧・復興から得た貴重な経験を正確に残し、災害復旧・復興に活かされることを目的に、NPOちば水土里支援パートナー(以下「NPO」)も協力し、東日本大震災の記録誌が作成された。

その後、NPOでは研修用資料等を関係機関に作成・配布し、農業事務所、土地改良協会が開催する研修会への講師派遣等の取り組みを行ってきた。(昨年度・今年度は、研修等の要請はなし)

東日本大震災以降、広島土砂災害(H26)、茨城県常総水害(H27)、熊本地震(H28)、九州北部豪雨(H29)等々が発生している。昨年には、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道地震が発生している。地震、台風、豪雨など、災害は、いつ、どこで起きても不思議ではなく、緊急時の対応は待ったなしである。

千葉県の土地改良組織も、技術者の大量退職期を迎え、世代交代が進み、東日本大震災を経験しない技術者が3分の1以上となっている。今後の防災体制の整備・拡充に向け、NPO、民間コンサルタント等



の専門知識、経験の活用は必要不可欠になると思われる。

しかし、最近の千葉県庁を取り巻く情勢から、現役とOBの関係が希薄になり、県とNPOの意志疎通が図りづらくなっているのが現状である。「三島ダムの漏水」の事案についても、残念ながらNPOとして貢献できる場面はなかった。

NPOは、農村づくりの支援、農村環境を守るための支援、農地などの災害復旧の支援等の活動を通じ、農村地域の活性化に貢献することを目的にしている。東日本大震災を契機として、その活動の場を大きく飛躍させた。

NPOは、いざという時に理念に基づく活動が実現できるよう、今後とも組織体制を維持してゆく必要がある。将来、支援体制が構築され、土地改良事業で培ってきた専門知識や経験を活用し、当NPOが地域に貢献できる組織でありたいと思っている。



最近思ったこと

御代出 和裕

8月21日に千葉県耕建会の夏季研修会に参加し、「チバニアン」で注目される地層がある「千葉セクション」を見学した。とんでもない昔から、大地と水は深い関係があることを感じた。

その日は、甲子園で高校野球の決勝戦があり、帰りのバスは土地改良OBとしては当然ながら、秋田県代表の金足農業の応援となり、懇親会もそろそろ終わるころ、残念ながら12対2で金農が負けてしまった。我々からするとガッカリであったが、投手の吉田くんはずーっと投げ続け、よくやったと褒めてあげたい。

翌日の報道で、彼は環境土木科の3年生だという事が分かり、またまた感動。更に、秋田県には農業高校があつて農業土木科もあり（卒業して我々と同じ職業に就くとは考えられないが）、全国的に有名な八郎潟等の土地改良に関する伝統を重んじて、学科を残しているのかその辺りはよく分からない。

それと比べると、我千葉県はもうだいぶ前から農業高校という名前が消えてしまい、農業土木は過去のものになってしまった。

手前みそではないが、我々がやってきたことが一番大事な事とは思わないけども、今までに造成してきた施設も至る処で耐用年数を遥かに過ぎ、だままだまし使っているのが現状で、直すにもかなりの経費が必要になっている。

高速道路のPRで、安全の為に色々な工事をしているのを見ると、「ごもつとも」と思うが、首都高速等は前の東京オリンピックの時に出来上がっているの、確かに古いものは40年50年経過している。しかし、高速道路等は料金を頂き維持費建設費を捻出しているが、土地改良受益者はそれらを負担せざるを得ない、何かよい方法はないものか。

日本は何年かすると潰れるのではないかと、この頃思うようになった。夏目漱石が「三四郎」の中で、上京する三四郎と隣り合わせた学者（漱石本人？）との話の中で、「日本は潰れる」と云っている。明治末期頃と思われるが、日清日露の大戦に勝利して国全体が有頂天になっているのを感じて、そのように云ったものと思われる。それから50年もたたないうちに先の大戦で日本は潰れたが、20年後にはオリンピックを開催するほど成長をした。潰れないうちに何か手を打っておかないと、大変なことになってしまいそうだ。小生も70才になった。あと50年も生きられるわけでもないの、何ができると云うものでも

ないが、昭和30年代の土地改良精神で世の中が動いたらいいと思う。

もう一つ、今世界遺産だとか産業遺産とか言われているものが沢山ある。我々の先輩が残してくれた土地改良施設が、他の分野の人々により公開されている。これは誠に遺憾であり、我々としての評価が低いのか、PRが下手なのか、良く研究して、関係団体とも協力して充実した資料を後世に残せるような「土地改良遺産大全集」をつくってみたいら・・・。

暇なジジイのたわごとにおつきあいいただき、感謝、感謝！

NPO法人活動実績（平成30年4月1日～平成30年12月31日現在）

月 日	活 動 内 容
4月 1日(日)	千葉土地改良協会市原支部事務支援業務の受託契約
4月 1日(日)	千葉土地改良協会千葉支部事務支援業務の受託契約
4月 3日(火)	安房中央ダム定期点検業務の受託契約
4月 7日(土)	第21回千葉の水回廊ウォーク&疎水百選印旛沼ウォーク参加
4月12日(木)	平成29年度農地耕作条件改善事業現地確認支援業務完了検査
4月12日(木)	平成30年度法人市民税減免申請手続き（千葉市役所）
4月12日(木)	千葉土地改良協会千葉支部第1回役員会出席（千葉市）
4月20日(金)	安房中央ダム堤体観測支援業務（南房総市）
4月20日(金)	千葉土地改良協会市原支部第1回役員会出席（市原市）
5月11日(金)	平成30年度千葉土地改良協会全体会議出席（千葉市）
5月17日(木)	君津地域土地改良協会事務支援打合せ（富津市）
5月22日(火)	平成30年度第1回監事会（土地改良会館別館）
5月22日(火)	平成30年度第1回理事会（土地改良会館）
5月23日(水)	安房中央ダム堤体観測支援業務（南房総市）
5月23日(水)	平成30年度千葉土地改良協会市原支部総会出席（市原市）
5月24日(木)	平成30年度君津地域土地改良協会総会出席（木更津市）
5月25日(金)	平成30年度千葉土地改良協会千葉支部総会出席（千葉市）
5月25日(金)	平成30年度土地改良区体制強化支援業務の受託契約
5月28日(月)	土地改良区支援業務（成田市）
5月30日(水)	土地改良区支援業務（野田市）
5月31日(木)	土地改良区支援業務（館山市）
5月31日(木)	君津地域土地改良協会事務支援業務の受託契約
6月15日(金)	千葉土地改良協会市原支部第2回役員会出席（市原市）
6月16日(土)	耕友会通常総会開催支援（千葉市）
6月20日(水)	安房中央ダム堤体観測支援業務（南房総市）
6月21日(木)	第9回通常総会・平成30年度第2回理事会（ポートプラザちば）
6月28日(木)	君津地域土地改良協会事務支援打合せ（富津市）
7月 3日(火)	法人変更登記事前打合せ（千葉法務局）
7月 5日(木)	改正土地改良法説明会出席（県庁）
7月10日(火)	法人変更登記申請書提出（千葉法務局）
7月10日(火)	定款変更認証申請書提出（千葉市役所）
7月10日(火)	平成29年度事業報告書提出（千葉市役所）
7月13日(金)	写真コンテスト審査会（土地改良会館）
7月20日(金)	安房中央ダム堤体観測支援業務（南房総市）

7月24日(火)	平成30年度第3回理事会(土地改良会館)
8月17日(金)	君津地域土地改良協会事務支援打合せ(富津市)
8月20日(月)	写真コンテスト表彰式(プラザ菜の花)
8月22日(水)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
8月27日(月)	君津地域土地改良協会研修会打合せ(柏市)
8月30日(木)	土地改良区体制強化支援業務打合せ(耕地課)
9月18日(火)	土地改良区支援業務(土地改良会館)
9月20日(木)	園芸協会農地耕作条件改善事業打合せ(土地改良会館)
9月21日(金)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
9月27日(木)	土地改良区体制強化支援業務打合せ(土地改良会館)
9月27日(木)	園芸協会農地耕作条件改善事業打合せ(土地改良会館)
9月28日(金)	千葉土地改良協会市原支部第2回役員研修会(市原市)
10月2日(火)	土地改良区体制強化支援業務打合せ(連合会・土地改良会館)
10月2日(火)	園芸協会農地耕作条件改善事業2者打合せ(機構・土地改良会館)
10月9日(火)	園芸協会農地耕作条件改善事業3者打合せ(機構・担当者・〃)
10月16日(火)	全国土地改良大会宮城大会(千葉土地改良協会市原支部)
17日(水)	全国土地改良大会宮城大会(千葉土地改良協会市原支部)
10月16日(火)	園芸協会農地耕作条件改善事業3者打合せ(土地改良会館)
10月22日(月)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
10月23日(火)	千葉土地改良協会千葉支部研修会(千葉中央コミュニティセンター)
11月7日(水)	改正土地改良法説明会出席(土地改良会館)
11月15日(木)	君津地域土地改良協会研修会(柏市)
11月19日(月)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
11月29日(木)	土地改良区体制強化支援業務打合せ(土地改良会館)
12月7日(火)	千葉土地改良協会市原支部第3回役員会
12月11日(火)	土地改良区体制強化支援業務東葛地区説明会(東葛北部土地改良区)
12月11日(火)	千葉土地改良協会千葉支部役員会(千葉市役所)
12月18日(火)	平成30年度第4回理事会(土地改良会館)

<編集後記>

新年に当たり、皆様方のますますのご健康とご活躍をお祈りいたします。当NPO法人も設立9年目を迎え、新役員体制により、一同気持ちを新たに本会の運営等に取り組んでる所です。会員皆様には更なるご協力を宜しくお願いいたします。

「平成」最後の年の正月、酒を酌みながら代の行く末を論じるのも良いかも知れません。

ちば水土里支援広報 第23号 (発行日 平成31年1月1日)

発行：特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー(発行責任者：相川文明)

会員：正会員 122名・20団体 賛助会員 14団体

事務局：〒261-0002 千葉県美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館

Tel 043-241-1755 Fax 043-241-1755

銀行口座番号：千葉銀行本店営業部 3908901 特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー
理事長 相川文明